

### 3 学年社会科学学習指導案

授業者 高橋 弘美

- 1、日時 平成16年10月5日(火)第5校時
- 2、学級名 3年4組(男子17名 女子21名 計38名)
- 3、主題 第4章 わたしたちの暮らしと経済 第1節 わたしたちの生活と経済  
1 ハンバーガーショップの経営者になってみよう

#### 4、主題について

##### (1) 単元について

本単元は学習指導要領第2章、第2節(公民的分野)目標(2)(4)内容(2)に関する内容の単元である。内容には「身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させる」とある。経済活動を動かす柱として消費・流通・生産・金融の4つの要素がどのようにかかわり合いながら、経済の流れが生まれていくのかを考えさせる単元である。

現代社会は情報と商品があふれている。実際に生徒たちは、宣伝や広告に惑わされたり品質の悪いものを購入してしまったりしている。さらに通信販売を利用して失敗したり、学習教材の電話勧誘にあたりして、「賢い消費者」としての見方や考え方が必要になってきている。そこで、消費生活を中心に価格や流通のしくみ、消費者の権利や消費者を守るための法律、消費者問題の現状などについて、資料を基に調べることを通して経済生活のしくみやはたらきをとらえさせていきたいと考える。

本単元は経済に関する内容の学習の導入となるものである。一般的に『難しい』という印象が強い経済について、興味・関心を高め、基本的な見方や考え方の基礎を養う意味で極めて重要であると考え。経済活動について経営者や消費者の立場から多角的に考えることにより、経済活動は私たちの社会生活にあらゆる面で密接なかかわりをもっていることをとらえさせたい。

##### (2) 生徒の実態

男女ともに比較的落ちついた授業態度であり、社会科の授業にも真面目に取り組んでいる。発問に対する反応もよいほうであるが、発言者が一部に限られており、自ら疑問や課題をもって取り組む姿勢が弱いという面が見られる。日常の授業では、発言にはいたらないが、生徒の「つぶやき」を大事にして授業を組み立てるよう心がけている。また、前時間の学習内容の復習である小テストや単元テストを実施することで、繰り返し学習することを習慣にし、基礎・基本を身に付けていけるよう取り組んでいる。グループ学習を通し自ら考える態度を育てるとともに、引き続き繰り返し学習を行って基礎・基本を身に付けさせていきたい。

##### (3) 指導の構想

本単元の学習は、「課題の設定」、「課題に対する予想」、「調査・話し合い活動」、「発表・まとめ」という流れで進めていく。

「課題の設定」では、生徒の疑問や関心が課題に結び付くような提示の仕方を工夫して設定し、学習活動の見通しをもたせる。

「課題に対する予想」では、できるだけ具体的な根拠に基づいて立てるように導き、何を明らかにしたいのか(追求目的)、何を調べるのか(追求内容)、どのように調べるか(追求方法)といった学習計画を立てさせる。

「調査・話し合い活動」では、教科書や資料集など身近な資料を活用して読み取る力やまとめる力を身に付けさせるよう支援する。また、グループでの話し合いによって考えを深めさせる。その際、意欲をもって取り組めるよう個に応じて適切な支援を行う。

「発表・まとめ」では、いろいろな意見を取り入れることによって、課題について多角的にとらえさせたり、知識の共有化をはかり、理解を深めさせる。

## 5、単元の目標

- (1) 関心・意欲・態度・・・経済活動に関する諸活動について意欲的に追求し、考えることができる。
- (2) 思考・判断・・・社会における企業の役割と社会的責任について、多面的・多角的に考え、様々な立場から公正に判断できる。
- (3) 技能・表現・・・資料を適切に選択して活用し、考察した過程や結果をまとめたり、発表することができる。
- (4) 知識・理解・・・経済活動の意義、現代の生産のしくみのあらまし、社会における企業の役割と社会的責任について理解できる。

## 6、指導計画（5時間扱い）

- (1) ハンバーガーショップの経営者になってみよう！  
章の導入として課題学習を行うことで、学習意欲を高め、経済への興味・関心をもつことができる。  
・・・1時間（本時）
- (2) 消費と貯蓄  
実際の消費活動を通して、消費者が商品やサービスを購入する際には選択の原理がはたらいっていることを理解することができる。  
・・・1時間
- (3) 消費者の権利と保護  
消費者の権利と保護について、実際の被害例や対応策を通して考えることができる。・・・1時間
- (4) 流通のしくみ  
さまざまな商品の流通経路に関心をもち、流通の仕事について理解することができる。・・・1時間
- (5) 生産のしくみ  
株式会社のしくみを理解し、企業の役割と社会的責任について考えることができる。・・・1時間

## 7、本時について

- (1) 本時の目標
  - ア 意欲的に課題学習に取り組むことができる。（関心・意欲・態度）
  - イ 身近なことから、生活と経済の関係、経済活動における選択について考えることができる。（思考・判断）
  - ウ 課題に対しての自分の考えをまとめ、表現することができる。（技能・表現）
- (2) 研究主題に関わる本時の構想
  - ア 課題提示の工夫  
身近な地域を例に出し、視聴覚機器を使用することにより、生徒たちの興味・関心を高め、学習意欲を高めることができると考えた。
  - イ 学習過程の工夫  
グループによる話し合い活動により、課題について多角的にとらえることができると考えた。また、専門の方の話を聞くことで、さらに課題についての見方や考え方を高めることができると考えた。

8、本時の展開

：学習課題      ：予想される生徒の反応

関：社会的現象への関心・意欲・態度      思：社会的な思考・判断      資：資料活用・表現      知：社会的現象についての知識・理解

段階	過程	学習活動	指導上の留意点	評価の場面と 具体的評価規準	教材・教具
導入       10分	課題づくり	<p>1 本時の学習課題を把握する</p> <p><b>ハンバーガーショップをどこに開店すればいいだろう？</b></p> <p>2 予想を立てる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅の近く</li> <li>・駐車場があるところ</li> <li>・住宅があるところ</li> <li>・学校の近く</li> </ul>	<p>1 本時の学習課題を提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚教材を用いて、身近にあるハンバーガーショップを思い出させ、興味・関心をもたせる。</li> </ul> <p>2 学習課題についての予想を立てさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営者の立場になり、紫波町であれば、どんなところに開店するとお客さんがたくさん集まるか予想させ、学習課題と結び付ける。</li> <li>・仮の地図を提示し、それぞれの立地条件の特徴をとらえさせる。</li> </ul>	<p>関：自分の住んでいる町を想像し、開店するのに適している場所を考えることができたか。</p>	<p>VTR</p> <p>学習シート 拡大地図</p>
展開       35分	課題追求	<p>3 解決のための活動をする 考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物客が多い。</li> <li>・学生の利用が多い。</li> <li>・駅から遠い。</li> <li>・車で行くには便利である。</li> </ul> <p>発表する</p> <p>深める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に店を開店する時には、様々なことを考えて立地している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでそれぞれの場所のプラス面・マイナス面を考え、予想を検証させる。</li> <li>・机間巡視をし、読み取る視点についてアドバイスを与える。</li> <li>・調べた場所について、具体的な根拠を基に発表させる。</li> <li>・課題を多角的にとらえさせる。</li> <li>・グループの考えを聞き、自分自身の考えをまとめる。</li> <li>・実際にあるハンバーガーショップの立地場所について、実際の店の方の話を聞き、考えを深めさせる。</li> </ul>	<p>関：学習課題についてグループで積極的に調べることができたか。</p> <p>技：課題に対しての自分の考えをまとめ、発表することができたか。</p> <p>思：考えたことをもとに実際の店の立地条件をあてはめ、さらに考えを深めることができたか。</p>	<p>学習シート</p> <p>資料</p> <p>VTR</p>
終結  5分	まとめ	<p>4 本時のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習シートに分かったことを書く。</li> <li>・次時の予告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな考えを聞き、私たちの生活が経済活動を密接なかわりをもっていることを気付かせる。</li> </ul>		

# 社会科公民的分野における評価規準と具体的評価規準

単元	到達目標	評価規準	観点	具体的評価規準	評価	評価方法
第4章 私たちの暮らしと経済 第1節 私たちの生活と経済	〔1〕ハンバーガーショップの経営者になってみよう 〔2〕消費と貯蓄 〔3〕消費者の権利と保護 〔4〕流通のしくみ 〔5〕生産のしくみ	身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解することができる。 ・現代の生産のしくみのあらましについて理解することができる。 ・社会における企業の役割と社会的責任について考えることができる。 ・商品の広告など身近な調査活動に関心をもって取り組み、消費者としての経済活動へのかかわり方や流通・生産に関する諸問題を意欲的に追求できる。	個人や企業の経済活動に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、経済活動について考えようとしている。	関心 家計と企業の身近な経済活動とそれに伴う消費者問題についての学習課題をとらえ、その課題を解決するために、新聞記事、映像資料、インターネットなどの複数の資料をもとに自分から進んで調べている。	A	・発言 ・行動観察 ・学習シート
				家計と企業の身近な経済活動とそれに伴う消費者問題についての学習課題をとらえ、その課題を解決するために、新聞記事、映像資料、インターネットなどの複数の資料をもとに調べている。	B	
				新聞記事やニュース番組など身近な事例や意外性のある資料に触れさせ、事例を自分の場合に置き換えさせて疑問に思ふことや学習課題の切実性に気づかせる。	C	
			社会における企業の役割と社会的責任について、多面的・多角的に考察し、個人や企業の経済活動のあり方を、様々な立場から公正に判断できる。	思考 家計と企業間の関係や流通、生産、消費者問題に関わる学習課題の解決にあたり、的確な複数の視点から考え、明確な根拠をもとに結論を引き出している。	A	・発言 ・行動観察 ・学習シート ・単元テスト ・定期テスト
				家計と企業間の関係や流通、生産、消費者問題に関わる学習課題の解決に対して、複数の視点から考え、明確な根拠をもとに結論を引き出している。	B	
				学習課題の解決にあたり、2つ以上の資料の相違点や共通点を見出させ、学習課題と関連づけさせて、解決策をまとめさせる。	C	
			個人と企業の経済活動に関するさまざまな資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、追及し考察した過程や結果をまとめたり、発表することができる。	技能 家計と企業間の関係や流通、生産、消費者問題に関わる学習課題に対して、資料集、新聞記事、インターネットなどの資料を活用しながら、的確にまとめたことを自分の言葉で話し伝えることができる。	A	・発言 ・行動観察 ・学習シート ・単元テスト ・定期テスト
				家計と企業間の関係や流通、生産、消費者問題に関わる学習課題に対して、資料集、新聞記事、インターネットなどの資料を活用しながら、全体的にまとめたことを自分の言葉で伝えることができる。	B	
				学習課題に関係する資料を読み取らせ、問題点を見つけさせたり、その原因を探らせたりして、要点をまとめさせる。	C	
			経済活動の意義、現代の生産のしくみのあらまし、社会における企業の役割と社会的責任について理解し、その知識を身につけている。	知識 家計と企業間の関係や流通、生産、消費者問題、経済活動の意義、現代の生産のしくみのあらまし、社会における企業の役割と社会的責任についての知識を他の知識と関連づけて、構造的に説明することができる。	A	・発言 ・行動観察 ・学習シート ・単元テスト ・定期テスト
				家計と企業間の関係や流通、生産、消費者問題、経済活動の意義、現代の生産のしくみのあらまし、社会における企業の役割と社会的責任についての知識を説明することができる。	B	
				学習課題に対して教科書や資料集を調べさせたり、身近な例と関連づけて指摘させたりして、新たに得た知識を確認させることを通して、自分の学習を前向きに評価させる。	C	
章のまとめ ・自己評価 ・単元テスト	章全体の学習内容を整理することができる					・定期テスト ・単元テスト